



今後の活性化が期待される香取地区

の「道の駅」に成功事例が少ないことを意識したものでした。

これに対し、議員側は、大山恵みの里構想に異論を唱える者は、一人もないものの、農水産物の販売拠点として、「農産加工場等との複合施設として整備し、名和・中山間開通以降も集客が見込める施設として整備すべき」、「建設予定地を見直すべき」、「財政難の中、計画を白紙にし、予算をソフト事業に振り替える

べき」等、異論が続出しました。

町長・担当課長を交えながら、この問題を所管する経済建設常任委員会や、全員協議会で、さらに、個々の議員間でも、繰り返し議論し、最終的には、「拠点」は、大山寺を筆頭に、名和IC、御来屋漁港、香取付近に、(小規模なものを)順次整備し、観光客の滞留性を高めたい」という町長案に理解を示し、予算承認となりました。

御来屋漁港にも直売所

今年度は、県の補助事業で、御来屋漁港にも水産物を主体とした直売所(木造2階建、事業費3千万円、漁協運営)も建設されます。

観光交流センターのすぐ近くには、御来屋駅の「みくりや市」もあり、これらを含め、センターを中心に町内の観光物産施設、各種団体等と連携が緊密に図られ、大山町の産業が元気になることを期待しましょう。



漁師料理が人気の御来屋漁港

山口町長施政方針

依然として、厳しい財政状況であるが、地方分権にふさわしい簡素で効果的な行政システムを構築するため、徹底した行財政改革を推進していく。限られた財源の中で、旧3町の個性と工夫に満ちた魅力あるまちづくりを継承するとともに、財政の健全化や、大山恵みの里計画の実現、少子・高齢化など地域の課題に積極的に取り組みたい。

▼主要事業

(社会基盤・生活環境)

- 町道上坪名和神社線道路改良工事・歩道設置、町道所子中高線新設改良工事
- 巡回バスの運行エリアを、中山地区にも拡大

(教育)

- 「読む・調べる」習慣の確立に向けた実践研究 究継続

(保健・福祉・医療)

- 後期高齢者医療制度が開始されるが、健全な医療制度の運営に努力
- 「特定健康診査・特定保健指導」制度の推進

(産業・雇用)

- 所子工業団地の整備
- 大山恵みの里づくり計画による「観光交流センター」整備

(住民自治・行財政)

- 自治基本条例の策定や自治組織の仕組みを研究